

Mr. サトーのインド通信

～ 〇 ～ (ゼロ)

ご存知の方も多いと思いますが、「0」(ゼロ)という数字・概念は古代インドで発明されたという説が有力です。例えば日本式数字表記では、一、十、百、千、万、億、兆、京、・・・のように桁が上がるたびに新しい数詞が必要となります。また、ローマ数字では10はXと表わされ、Xが置かれる場所には依存しません。例えば、XVIIIは18を表し、CLXXXは180を表します。(Cが100でLが50)これらの記数法に共通する性質は、一つの文字が一つの数を表していることです。これでは大きな数値を扱うときに大変不便で、無限に大きい数を扱うためには無限に多くの数詞を作る必要となります。しかし、それぞれの国、それぞれの時代において、不便ながらもそれぞれの記数法が数千年にも渡って使われてきたそうです。そんな中、「0」は6世紀頃発明されたと言われています。この発明により、数学がより一層進歩した事は言うまでもありません。

三 百 六 × 十 三 <hr style="width: 100%;"/> 九三百十八 三十千六十 <hr style="width: 100%;"/> 三九千三百六十八	3 0 6 × 1 3 <hr style="width: 100%;"/> 9 1 8 3 0 6 <hr style="width: 100%;"/> 3 9 7 8	←同じ値でも「0」が無ければ計算がめちゃくちゃになります。
--	---	-------------------------------

「0」だけでなく、インド人は数学が得意だと言う事は有名です。日本でも数年前からインド式計算法を紹介した本をよく見かけますよね。インドの数学教育は日本のものとは大きく違い、数の感覚や概念、考え方に重点を置いています。例えば、日本では **1+2+3+4+5+6+7+8+9** はいくつになりますか? と問われれば公式に当てはめて答えを出します。しかし、単純に公式ばかりを覚えさせられても数学が嫌いになるだけで、その公式がでてきた理由を知らなければ算数の面白さは半減してしまいます。また、公式を忘れたら手も足も出なくて計算できないのも本末転倒。

でも公式を知らなくても考えさえ知っていればなんとでもなるのです。

下の写真はインドの小学校内に貼られているポスターですが、インドでは **1+9, 2+8, 3+7, 4+6, 5+5** といったように計算し、答えが **5つの10** からできているという事を教えます。インドの小学校では、こういった「考え方」を学ばせているのです。これなら、いくつまでの足し算でも応用でき、1から100まで足し算しなさいと言われても簡単に答えがでますね。このように考えさせる教育がインド流なのです。



ある時、弊社取引先の社長に3桁×3桁の計算を暗算でやってもらおうと、7～9秒ぐらいで答えました。すごいですよね？ そんな事無いですか？ 私がゆとり教育の産物だから・・・？

↓関係あるようなないような・・・ですが、0(ゼロ)を調べていたら出てきたのでこちらもどうぞ！



↑0ルピー札です。もちろん本当に0ルピーなので紙切れ1枚の価値しかありません。お札の仕様もガンジーもインド政府発行のルピー紙幣そっくりですが、実はインドの慈善団体「5th pillar」が発行したものの、偽札なのです。なぜこんなものがあるのかというと、インドではさまざまな場面で賄賂が幅を効かせているからです。

列車内での検札官や警官、公務員などから賄賂を要求される事が多々あります。そんな時にこの0ルピー札を突き出すと、自分は不正撲滅団体の加入者だと言う事を暗に伝える事になるのです。

0ルピー札はこの団体のホームページから印刷することが出来、これを使ったことにより問題が起こった場合は団体に連絡して下さいと書いてあります。こんなものを出されては賄賂を要求した側は何も言えなくなってしまうよね。(笑) 実際に一定の成果をあげているようです。

如何でしたでしょうか。

(インド工場の状況)

今年最後の入荷便を検品して参りました。横浜への入港予定は幅がありますが、12月中旬～末の予定です。クンナムが殆どでしたが、色・目合いとも問題無いかと思います。

弊社の取引工場はクンナムの各丁場と取引があり、クンナムV・EE・オメガ・KR と有名どころのほとんどを抑えているのが強みです。その時々で最良のクンナムを使用します。現在はV・オメガ・KR で生産しています。

また、クンナムだけでなく他の取扱石種も魅力たっぷりですのでご紹介させていただきます。

・ LK-01

言わずと知れたベタ目好きにはたまらない石です！

不安定な時期もありましたが、現状非常に落ち着いており、ちょっと買いすぎじゃないか？というぐらい大量に入荷しています。確かに値段は張りますが、特級丁場を抑えているので他では滅多に手に入らないものをお求めの際は、こちらがお勧めです。



・ GJ-GREEN

最近取り扱いを始めた緑が綺麗な新石種。今回の検品分が入荷予定ですが、緑が強く洋型にはベストマッチです！あえて問題点を言うのであれば、緑系統の石は原石ごとに色違いがあります。工場にはしっかり原石管理をして生産してもらっていますが、色合わせに苦労しているようです。発注が増えれば大量に原石を在庫しておく事ができるので、色合わせの問題も解消できるのですが・・・チラッ(笑)

(ベトナムのはなし)

日本が寒い時期にも暑いベトナムの件を少々。どこかで入荷したと噂のベトナム産の間知石。弊社でももちろん試しましたが、現状は単価があわず、断念！精度はいいので是非入れたい商品ですが、他社様がやっていない方法でなんとかできないかと試行錯誤中ですが、なんか永遠に試行錯誤しそうな雰囲気です・・・

本日は基本編のベトナム石種を紹介。

※石種の紹介文はあくまでワタシの主観です。ご容赦下さい。

①ベトナム代表格石種：SL →

山口県産の徳山石のような荒々しさと、福島県産の青葉石のような澄みきった色合いが特徴の白御影。



②最近、注目度急上：PH ←

愛媛県産の大島石のような落ち着いた色目。上品な白御影です。



③墓石業界以外では良く知られた：バイオレット →

少し派手な色目ですが洋墓にはきっと映えるでしょう。



試行錯誤の結果が出ましたら、これからも随時ご紹介させていただこうと思います。そのときまでしばしお待ちくださいませ。